



時代と共に変わるもの、変わらないもの

副校長 柴田 美智子

5月25日の土曜日、天気予報とは違い、眩しい太陽の照りつける中、なでしこ小学校の運動会が開催されました。

なでしこ小学校の児童数は670人を超え、4月に大勢の一年生を新たに迎え入れたことは、大変喜ばしいことでもあります。一方で児童数増加に伴い様々な教育活動の実施方法を見直さなくてはならず、新たな課題と向き合わなくてはなりません。その一つが今回実施した「運動会」でした。

今年度の運動会は、児童に暑さによる負担がないようにと、検討に検討を重ねてプログラムは決定されました。全学年の徒競走に加え、奇数学年が団体競技、偶数学年が表現を行い、代表選手によるリレーは4年生以上のみで行うことにしました。全校練習や応援団や鼓笛の練習も、最小限の練習で行えるように、内容を厳選していたところに担当者の努力を感じました。

学習指導要領は、時代の変換に合わせるよう約10年の一度のペースで改訂されますが、各校の教育活動はその年度ごとに見直す必要があります。地球温暖化による熱中症対策はもちろんのこと、その時代の社会全体の動向に加え、児童や学校の実態、地域やご家庭の様子も踏まえて計画を変更していきます。暑さ対策として、テントが校庭一面に張られるようになったのは、ここ10年ぐらいのことではないでしょうか。保護者の手作りのお弁当を親子一緒に校庭で食べる姿も、暑さやスペース的な問題、保護者・地域の実情等により、いつの頃からか見られなくなってきました。

この様に時代のニーズに合わせて変化している運動会ですが、いつの時代においても、児童だけではなく、保護者も地域も大変楽しみにしている一大行事であることは、今も昔も変わりません。青空のもと、子供たちの頑張る姿、応援団の熱の入った掛け声、保護者の声援、運動会の思い出はいつの日も色褪せず、それぞれの記憶に残るものでしょう。時代に適応させながら、これからも心に残る運動会を計画・実施していきたいものです。

最後になりましたが、陰ながら運動会を支えてくださったPTA役員の皆様、朝早くから、また閉会式後には素早くテントを片付けてくださった「親父の会」の皆様、そしていつも子供たちを励ましエールを送ってくださった保護者の皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



鼓笛・フラッグ「一音心奏～負けないで～」6年



全力綱引き～心をひとつに～5年

確認とお願い ～忘れ物について～

学童の帰りにいつの間にか校舎内に入っている児童や、下校後、暗くなってから忘れ物を取りに来る児童が見られます。「せいかつやくそく」にも掲載されていますが、忘れ物は原則取りに来ないことになっています。忘れ物についてと、下校後は校舎内に勝手に入らないことをご家庭でも確認していただけたらと思います。家の鍵など、どうしても必要な物はこの限りではありません。

なでしこまつりに向けて

特別活動部 庄司 翼

なでしこ小学校では、毎年、「なでしこまつり」を行っています。このなでしこまつりでは、仲間と助け合いながら、自分たちでお店の企画・準備・運営を行うことで、学級の連帯感を強め、自治的な力を身に付けていくことを目的としています。2年生から6年生までの各クラスでは、学級会を開き、来てくれた人に喜んでもらえるために、お店の内容・準備についての話し合いを行っています。

なでしこまつりを通して、自分の学年だけではなく、他学年との関わりをもち、子供たちが共に支え合い、お互いに高め合う集団として成長していく機会にもなり、大変意味のある特別活動の学習の1つです。

教科学習の他にも、このような行事を通して子供たちが自分の役割を果たし、他者の役に立つ喜びを感じる経験をたくさん積み重ねていきます。

休み時間の過ごし方・下校の時の注意

生活指導主任 美濃田 拓紀

なでしこ小学校は年々児童の人数が増え、大規模校となってきました。そのため、児童が安全に遊べるように、校庭遊びを1・3・5年生と7組、2・4・6年生と2つのグループに分けて実施することになりました。校庭を広々と遊べるようになり、3年生と6年生が一緒になってドッジボールをしたり、1年生と5年生が鬼ごっこをしたり、学年の枠を越えて楽しんで遊んでいる姿が見られます。

一方、中遊びの学年は、教室で安全に工夫をしながら過ごしています。友達と話をしたり、各学級に配布されたトランプで遊んだり思い思いに楽しむ様子が見られます。今後も、児童の考えを大切に、児童がより良く過ごせるよう必要に応じて改善していきます。

下校時の注意についてです。下校時に児童が道いっばいに広がり、歩行者等に迷惑をかけている。ということが学校に寄せられています。土曜授業後の親子での下校時には特にご注意を受けました。友達と帰るときは2列まで、建物側によって歩き、ふざけず安全に下校するように今一度ご家庭でお子さんと話し合ってください。地域、学校、家庭と連携協力しながら、児童が安全に登下校することができるようにご理解、ご協力よろしくをお願いします。

外国語活動/外国語

外国語活動コーディネーター/外国語活動担当 神戸 純子

北区では、1、2年生（低学年）から外国語（英語）の学習を始めています。3、4年生（中学年）では、副教材「Let's Try」を使って「聞くこと」「話すこと」の音声面でのコミュニケーションを中心とした学習を行います。5、6年生（高学年）では、教科書「NEW HORIZON Elementary」を使って、音声面に加え「読むこと」「書くこと」の学習を行います。その単元で学ぶ主要な表現を色々な言語活動を通して慣れ親しみ、外国語を用いたコミュニケーションの基礎となる資質・能力の育成を目指していきます。

今年度は、ALT（アシスタント ランゲージ ティーチャー）のメキシコ出身のクリステル先生と学級担任とで授業を行っています。

ALTが参加する授業は、1、2年生が年間20時間、3年生から6年生は年間35時間です。高学年は、ALTが参加する授業に加えて、担任による15分間の「モジュール（短時間学習）」も年間35時間分実施します。

またイングリッシュ・キャラバンでのALTとの体験的な学習も実施します。

学級担任とALTが協力して、一人一人の児童が外国語に慣れ親しみ、先生や友達と楽しく学習できるように工夫しています。



【3年生の外国語活動の様子】